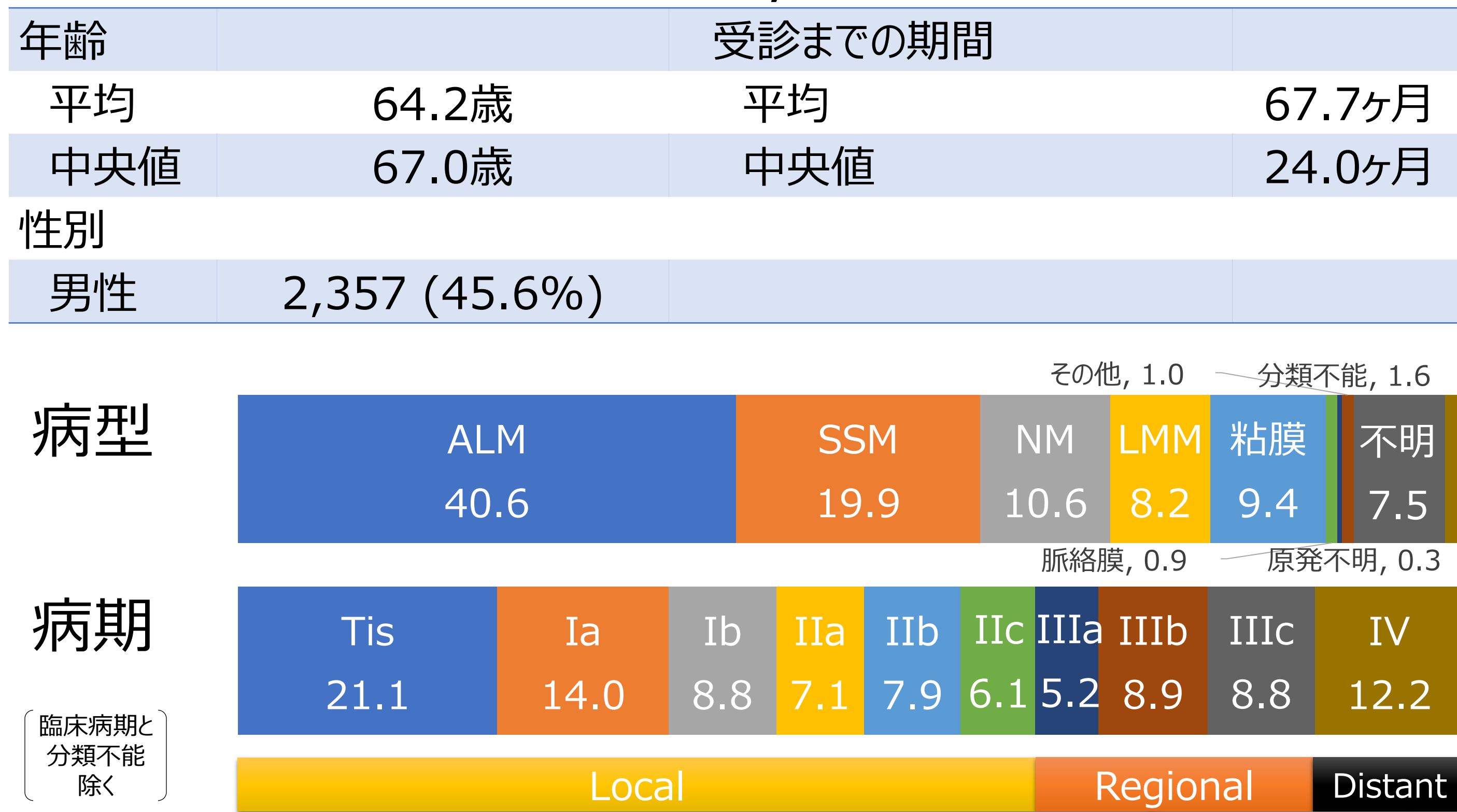


Japanese Melanoma Study: Annual Report 2022

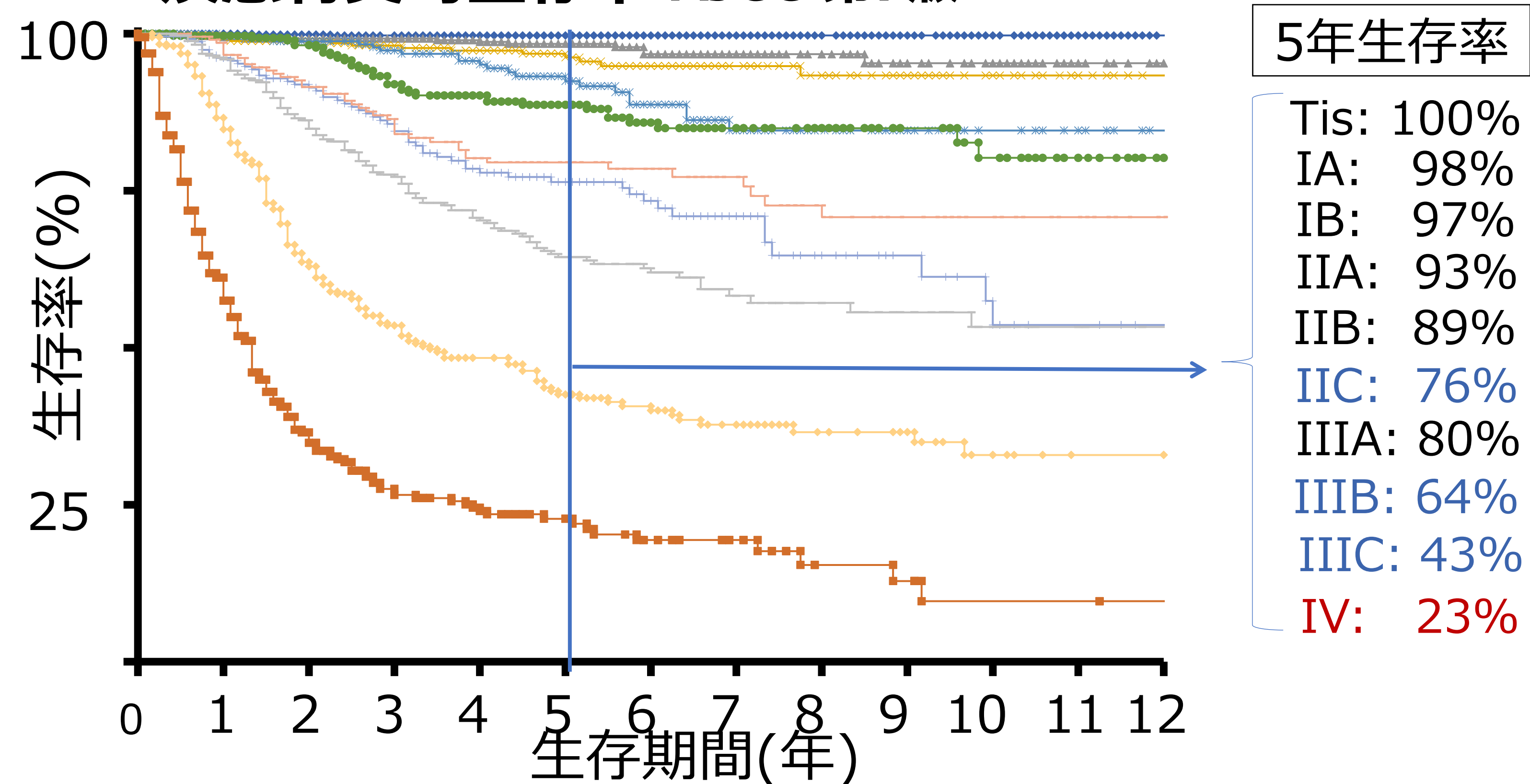
皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予後統計委員会担当委員：藤澤 康弘（愛媛大学）

背景情報：AJCC第7版（2005-2017年の症例）

総症例数：5,173症例

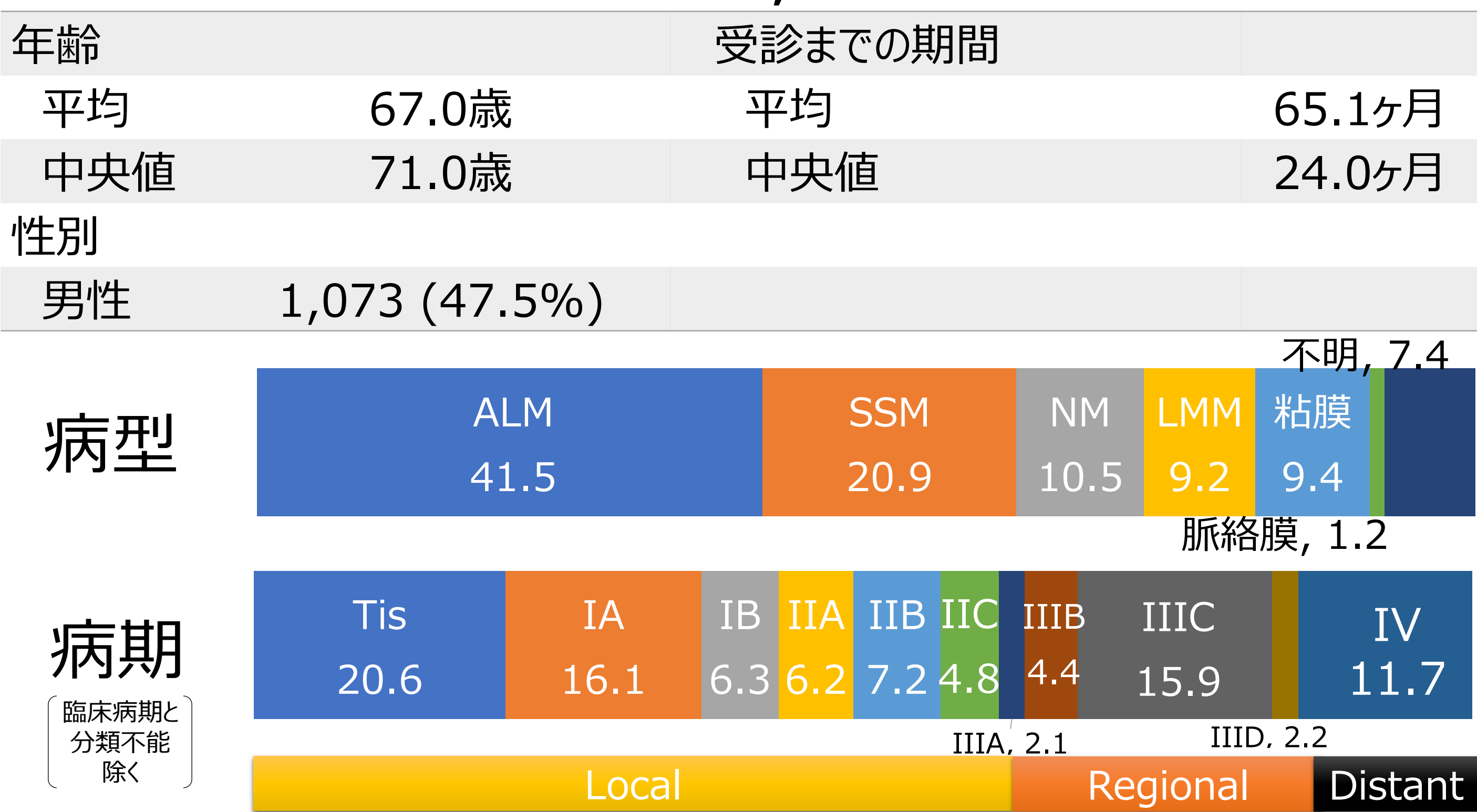


疾患特異的生存率 AJCC 第7版

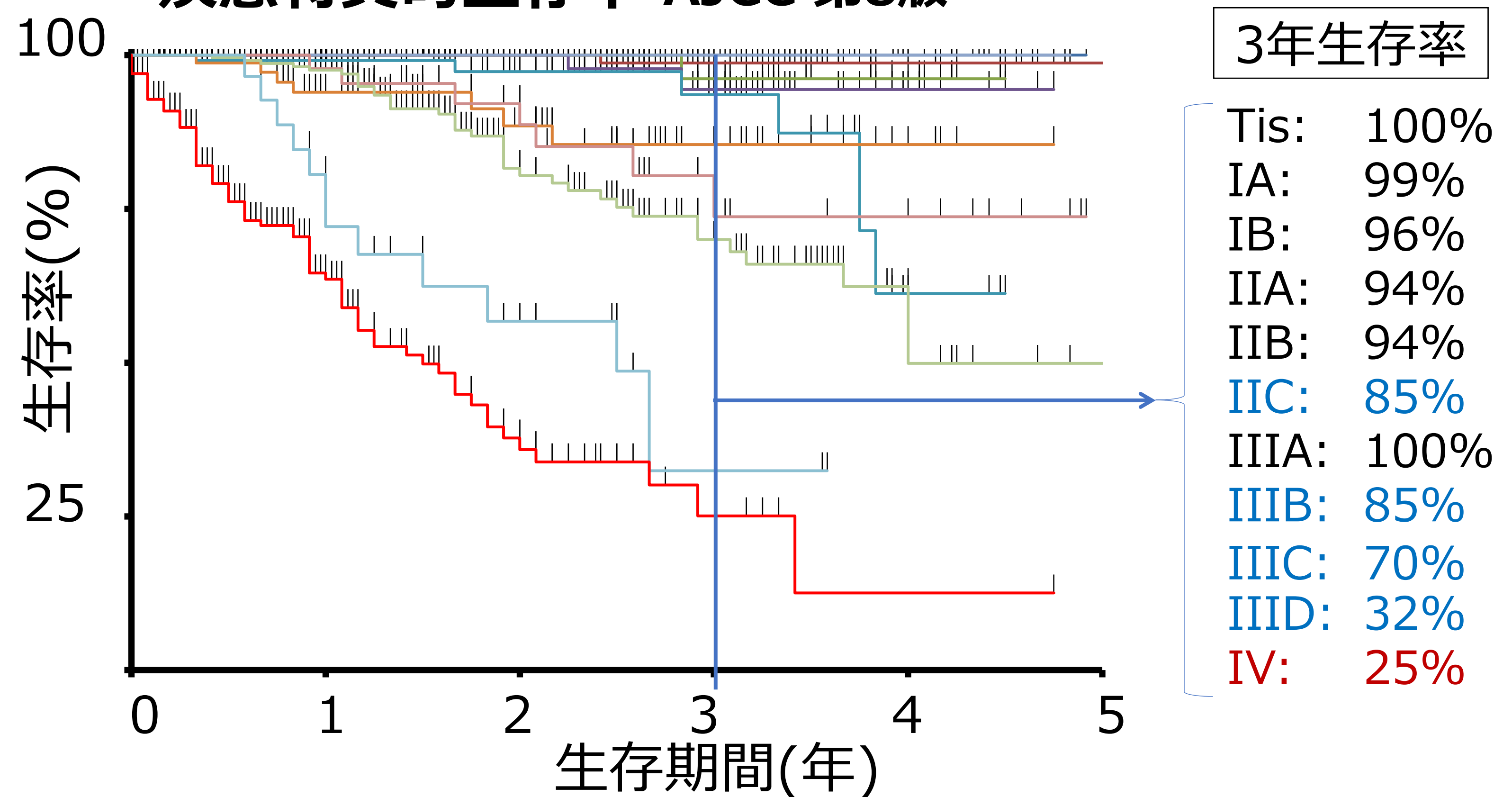


背景情報：AJCC第8版（2018-2022年の症例）

総症例数：2,258症例



疾患特異的生存率 AJCC 第8版



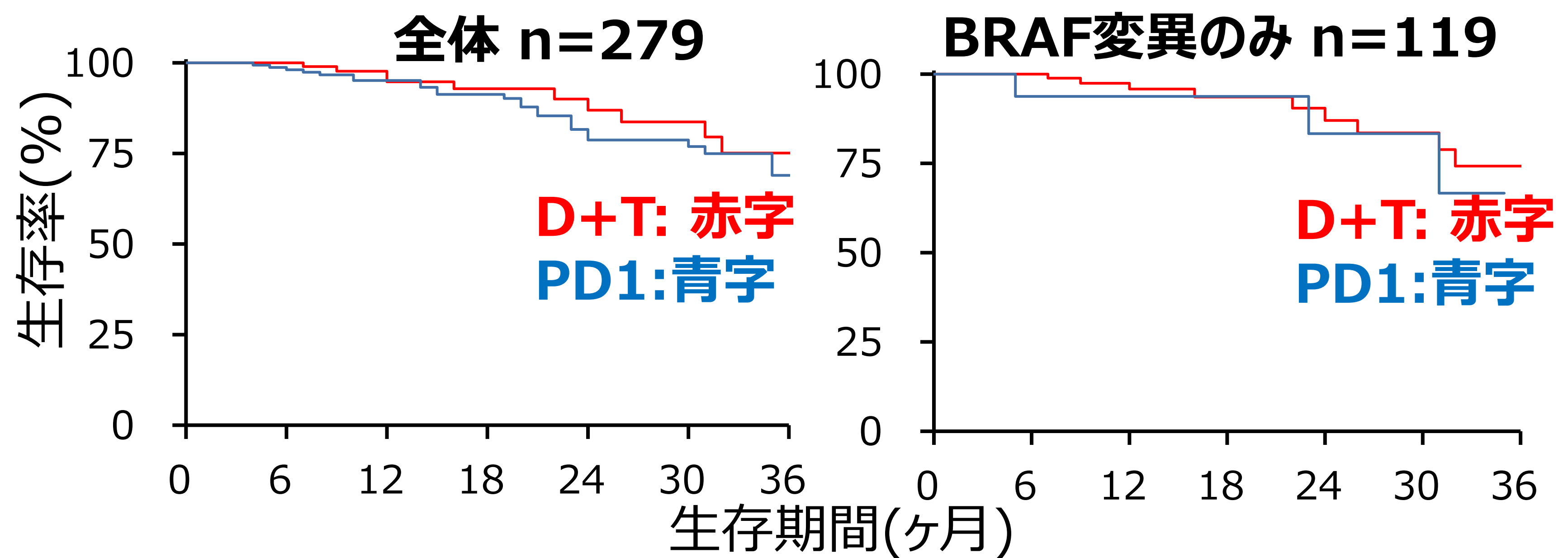
2018-2022症例におけるアジュバント治療

ステージIIIA-IVでアジュバント施行：341例

PD-1：167例
DT：112例

BRAF変異の記載あり：126例

PD-1：17例 (13%)
DT：102例 (87%)



今後の調査について：皮膚悪性腫瘍レジストリ研究への移行

2005-2022
メラノーマ予後統計調査: JMS
(Japanese Melanoma Study)

2023年秋
移行予定

皮膚悪性腫瘍レジストリ研究: JSCaRS
(Japan Skin Cancer Registry Study)

JSCaRSについて

皮膚悪性腫瘍学会予後統計委員会が主体となり、以下の4疾患についてのレジストリ研究を行うことが理事会で決まりました

- 悪性黒色腫・皮膚リンパ腫・乳房外パジェット病
- 皮膚血管肉腫

研究への参加について

皮膚悪性腫瘍学会より参加の御意向調査を行いました

- おおよそ90施設から参加頂けるとの御回答
- システム構築が完了した段階でスタートアップ会議予定致しますのでよろしくお願いいたします

移行のメリット

- UMINのシステムからEDCシステムViedoc4に移行
 - > 入力内容のチェックおよび問い合わせが容易に。
- データ変更の際のログがより厳密に
 - > データベースの信頼性が向上

JMSに御協力頂いております各施設の先生方にこれまでの御協力に深謝申し上げます。今後も変わらぬ御協力賜れますと幸いです